

会 議 録

会議名称	タウンミーティング (上田)	記録者	生涯学習課 課長補佐
日 時	平成29年9月19日(火) 午後7時～午後9時7分		
場 所	上田会館		
出席者	町 : 町長、副町長、教育長、総務課長、財政課長、企画振興課長、健康福祉課長、地域整備課長、学校教育課長、生涯学習課長、危機管理室長 区長会 : 上田区長 町 議 : 林議員 住 民 : 35人		
会議内容	1 開会 2 町長あいさつ 3 出席者紹介・開催趣旨説明(総務課長) 4 町政報告(財政課長、企画振興課長) 5 意見交換 ・小学校・保育所統廃合について(学校教育課長・健康福祉課長) ・下水道使用料について(地域整備課長) ・地区等からの要望等 6 フリートーク 7 閉会		

会議結果

●質問

学校は地域にあってほしいが、現状は厳しい将来的には統廃合をやってほしい、スピード感を持って対応を。

●質問

中学校統合においてメリット・デメリット。

○回答（教育長）

宝達中学校が統合して3年目になる。当初は生徒・先生・保護者のことで心配したが順調にスタートした。生徒達は違うところから来たが学習面・生活面においてお互いに支え合い頑張っている。

●質問

中学校通学の距離等での負担として声があがっていないか。

○回答（教育長）

志雄地区はスクールバス、押水地区は自転車や徒歩で通学、冬場においては押水地区の方からスクールバスに乗りたいとの意見も出ている。

●質問

スクールバスで一番遠いところからの時間と中学校に着く時間は。

○回答（学校教育課長）

一番遠いところから30分を目途にしている。

また、先程のメリット・デメリットの補足として、メリットとしては、部活動の選択肢が増えたこと、学校の先生においては、小学校は担任制で中学校は教科制となり、それぞれの教科の専門教師が就くことになる。人数が少なくなっていくと全ての教科の配置が出来なくなる。現在4クラス・3クラスあるので全ての教科で専門の先生が就いている。少なくなれば免許を持っていない先生が違った教科を教えることも出来るのでメリットである。

●質問

統合には反対の立場だが、先程の資料を見ると平成35年には必要となる。ただ、小学校の子ども達は先程のメリット・デメリットでは多人数の方が合理的だが、小学校の間ではきめ細かく教育する。将来の人材育成の意味で必要かと思う。

外国の方でも少人数化になっていると聞いている。特に宝達小学校

では従来から地域と子どもが風土にあったような育ち方をしている。そのことから小学校はそのままで良いと思うし、中学校へ行って切磋琢磨する。あるいは、多人数のところで鍛えられる。そういう考え方でも良いのではないかと思う。

数値を見る限りでは少し難しいかと思うが、小学校という時代ではきめ細かく教育してもらおう。先程の話の中で複式学級ではなくて少人数であっても町独自で教員を配置することも出来るので小学校の統合はしないで良いと思う。

話しは少しずれますが、住居表示で金沢では昔の町名を残したいという雰囲気があり、地域の独特な生活を皆が望んでいることだと思います。やはり地域でのきめ細やかな教育をお願いしたいと思います。

●質問

県内の統合の状況は。

○回答（学校教育課長）

七尾市、加賀市、小松市、金沢市が統廃合を進めている。津幡町は逆に統合しない方針を出している。50人以下でも存続している状況です。

先日、校長会・教頭会で現場の先生から少人数（3人）のうち一人がケンカになると、他のものと親しくできなくなる。その状況が6年間続いてしまう。大人の間からはきめ細かくて良いと見られるが、子どもたちからはマイナス面である。大きな集団になると自分の好きな友達を選ぶことができるが、小さな集団では逆に抑えられてしまう危険性があると先生が話されていた。

○回答（総務課長）

志賀町では地域の説明会を何年もかけて統廃合をした。羽咋市は、羽咋中学校と邑知中学校が統合する予定だったが、現在は2校のままになっている。それぞれの地域の現状によって、複式学級の方が良いという地域もあるし、人がいない距離が離れているところでは複式になっているところもある。県内の状況はこうだから、うちの町も統合する、しないではないと思う、我々は最初に話をしたタウンミーティングの意見のなかで決定していく、それぞれの市・町の状況によってやり方、進め方が違うということが現状かと思う。

●質問

下水道について、志雄地区でやっていないところは費用対効果を考えて合併浄化槽といていたが具体的にどう進めていくのか、今後空

き家が増え維持費もかかる。費用対効果について今後のこともあるので説明を。

○回答（地域整備課長）

下水道本管を道路に埋設していくことになれば、今後人口や家屋も少なくなっていく状況のなかで、例えば1億円かかるところに30件も40件も増えれば良いが、数件しか見込まれない中で本管を埋めていくとなると財政的にも厳しい。今後世帯が少なくなっていく状況では、個別の家に合併浄化槽事業を町として進め、出来るだけ費用を少なくする。以前は国から補助金を貰ってやっていたが、三位一体の改革から考え方が変わった。費用対効果を検討したり、入ってくるお金も少なくなった。そのことから今後は、合併浄化槽による個別の投資に切り替えていきたいと思う。

●質問

合併浄化槽は個人の宅地にいれる訳だから、下水道事業と切り離されると考えればよろしいか。

○回答（地域整備課長）

現在考えているのは集合処理のエリアを予定。個別で勝手にやっただけだとはいかないので、同じように分担金・使用料をいただき維持管理は町で行う方向で検討していきたい。

●質問

最終的に合併浄化槽で処理された水はどうなるのか。

○回答（地域整備課長）

側溝に流れる。

●質問

下水道経費がかかる。料金を下げるのではなくて、大事なことは総合戦略をやるべきでは、大切なことは人口減少を食い止めることが先決と思う。

○回答（町長）

今おっしゃたように人口を増やしたいと思っている。その一つとして、出来れば少し下水道料金を下げたいと思っている。いろんなことをして町の宣伝・アピールをしていくが一方でこのような数値が表に出ると住みにくい町だと思われる。

●質問

下水道のことではないが、人口減少とかいろんな話がありましたけれども、守りに入っている。電気自動車を6台購入して、集落の中をまわして、それを日本で一番先にやって町の知名度を上げれば人口も増えるのではないか、夢みたいな話だけど。

○回答（町長）

今おっしゃたように新しいことをどんどんやっていけば良いかなと思う。高齢者の方の足の確保の面でも車をシェアしてみんなで使うとか、そういうことにも使えると思う。

●質問

幹線道路にしかコミュニティーバスが走っていないので、そこからまた小さな車に乗って移動出来ればと思っている。

○回答（町長）

今のことを参考にして、これから地域の足は大事、来年度からコミュニティーバスを見直したいと思っている。

●質問

下水道使用料について、旧押水町のときに水道事業の審議会に出たことがあり、そのときは下水道が普及し始めた頃だったので、料金については融通が効いた時代だった。そのころ議論していたのは将来的には段々料金を上げていかなければいけないと議論していた。

例えば汚泥処理と必要経費は下水道には付きまとうので、多少の受益者負担が必要かと思う。それと水洗化率を上げること。いきなり料金を上げると抵抗があるので状況や事情をきめ細かにタウンミーティングとかで説明して理解を求めることが大事なことだと思う。

●質問

町として企業へ支援をして収入を得て町民に還元するというシステムはないのか。加賀かどこかの町か分からないが、税収入が多かったら決算で余った税金を町民に配当している地域があるので、そういう所はどうやって税収入以外で収入を得ているのか、そういうことを考え町民の税金を減らしていけばどうか。

○回答（町長）

何かで収益をあげるとかそういうことで町民の方に還元するのは難しいかと思う。企業誘致をしたり、人を定着するような取組は今後していく。また、支出を減らす面で、県内でも医療費が高いので運動習慣を設けたり健康に気を付けてもらうようなことも思っております。

●質問

現時点で企業からの税収入があるのか。また、企業誘致をした数とその税収入は。

○回答（財政課長）

企業誘致を旧町時代から進めて参りました。志雄地区では参天製薬、立山合金、近年ではNTN等を誘致してきた。約13企業になるかと思えます。手元に資料がないんですが、法人税で入ってきている均等割りや、企業の業績によって納めていただく法人税割を合わせると、平成29年度予算として1億3千700万円で、町の全体予算でいくと約70億の内の1億3千700万円の割合になる。また、先程の13企業の個別の金額については資料がないのでご了承願いたい。

●質問

新聞で以前日本全土で九州ぐらいの面積の山が所有者不明と報道されていた。宝達志水町も山が多いと思うが、そういうことが起こっているのか。また固定資産税とか地目で把握しているのか。

○回答（総務課長）

土地というのは全て登記されているので、登記簿での氏名が不明ということはありません。昔の人の名前であっても、今の人で相続できる方へ案内をして納税しています。

●質問

企業誘致について逆転の発想として、宅地を増設し人を確保することで、この街にはたくさん働く人がいることをアピールする。そのことにより企業にきていただく。

○回答（企画振興課長）

今浜の住宅跡地に宅地造成をしました。今後もそういう形で企業誘致も並行して取り組んで行きたい。

○回答（町長）

若い人が住み良いように、町の土地を使ってもらってアパートに補

助をしていきたいと思っている。

●質問

今までの説明において、民間企業では、いつまでにするんだと決めるが、目標は全然ない、やってまいります。やりたいと思います。それで終わってしまっている。具体的な目標はどうなっているのか、期限のない仕事はあり得ないんです。

○回答（町長）

一つ一つの事業において、議会の日程・開催時期とかあるので、大きなものは当初予算（3月）にやらなければいけない、何年かの計画の中でやっていく事業もあるので、時期は立てにくいですが、ご指摘のことはごもっともなので、しっかりと一つ一つやっていきたい。

●質問

町の施設使用料が変更になって1年が経った。町長が代わられて見直しをすると聞いているが、ここ1年間の費用対効果はあったのか、また、今後の使用料はどう扱っていくのか。

○回答（生涯学習課長）

スポーツ施設に限り昨年と比較して4,300人増えている。押水地区の施設は宝達志水スポーツクラブが指定管理を行っており、企業努力の成果の関係で増えています。

使用料については、使っている人と使わない人の均衡を図る意味でご負担していただいている。10月以降につきましては、いろんなことを見定めて検討していく。現在においても減免措置として小・中学生の部活動やジュニアスポーツについては無料となっている。また、体育協会・文化協会においても半額となっており、今後は内容を見極めて検討していきたいと思う。

●質問

今のはスポーツ施設を中心に話をしていたが全体について。

○回答（総務課長）

使用料をいただくことになってから、全体的には利用人数が減ったことはございません。

●質問

それから、費用対効果として事務手数料がかかっているのでは、事

務経費の相殺はどうなっているのか、また収入は上がっていますか。全体とは駐車場もあるし町の施設もひっくるめて。例えば宝達駅の駐車場もガラガラですよ、ということは収入的にどうなのか。

○回答（町長）

そんなことをまとめて皆さんに分かり易くお知らせしていきたい。

●質問

以前 JR 七尾線の利用増のため大いに駐車場を活用しようと、いずれ廃線になるかもわからないため少しでも解消しようと話を聞いたことがある。現状を見ると利用する人が少ない、先程から町の活性化と言っているが逆行しているのでは。それから、アステラスやさくらドームの人数が増えたと言っていました、現実には使用料の問題で利用する回数を減らしたりあるので、もう少し利用しやすいように使用料を見直すなり、何百円の使用料を払うのに銀行に行ったり、それから町から送られてくる請求書にも手数料がかかるのでは、また事務としても時間を費やしているのではないかと。

○回答（町長）

総合的に検証して広報に出したいと思います。

●質問

夢のあるような計画をやってほしい。実現も不可能なくらいのものをやっていただきたいと思う。

○回答（町長）

そういうご意見をいただければと思う。また、職員提案もやっている、今後皆さんと一緒に取り組んでやっていきたいと思っています。